

磐城日日新聞 發行所 磐城日日新聞社 福島縣小湊町清瀬51 電話代表387番 振替仙台31,355番 編集長 瀧 芳郎 印刷所 長瀬印刷所 小湊町 電219

小名濱開催の町村長會 築港促進を協議

石城町村長會は来る二十七日午前十一時半より小名濱町役場に於いて開催されることは既報の通りであるが協議事項にある小名濱築港の促進は日平線完成にともない小名濱港の重要性が増したため港としての整備強化が必要となり、向港に五、六千噸級船舶が繋留できるように計画を樹て、工事の早期着手を願う。また共同募金については縣の募金目標が昭和二十五年度は一千五百万円、全二十六年度二千四百万圓、また本年度は二千四百万圓と年々増加しており、救済事業として多額の調當をさされても到底消化し切れないういものである。また共同募金の部分についても

磐女保原を一蹴 ソフトボール始る

小名濱會場の縣休ソフトボールは午前八時より一中グラウンドに入場式を行なう予定のところ雨のため午前十時より第一小学校講堂に於いて既定の順序により式を終了したが雨は止まず一時は試合延期することになったが正午近く雨もあがったため

小名濱 消防團の變遷

一、消防はなぜ必要か 我々國民がひとしく欲するものは平穩にそして幸福に生活してゆく事である。しかし我々の行く手には種々雑多な不幸な事柄が待ち伏している。例えば昨日まで幸福に暮らしていた人が今日は火災が

印刷 長瀬印刷所 小湊町 電219

共同募金の減額も出る 兒童福祉法の制定によつてこの種の事業には部分の要がないのでありこの点を検討すべきであるといふ点等を協議するも

舟山投手のコントロールに最後まで押えられぬかと思われたが六回の裏に川俣の逆襲にあつて四点を入られ同点に持ち込まれたが八回一点を加えて一勝をものにした、女子チームとしてよく戦つた

二、消防の變遷 起きない自分でもよく氣をつけると共に誰が起した火災でも大事に至らないうちに消し止め我が町我が家からは火災をださないように心懸けることが幸福な生活をおくるために是非必要なのである

日本最初の消防は徳川時代の慶應三年西暦一六五〇年のころである、しかしこの消防は一般町家の火災を消すのではなく江戸城を守る消防であつた、その後三十年程経つてはじめて江戸に一般町家の守る消防ができた、消防のできる若者を選んで四十七組を作り、名主、町役人を頭として各組「いんげん」の組名をつけたもので現在の消防の前身といえよう、機械につ

石橋(別)坂本、原、佐藤、安部、また第二小學校講堂に於いて行われた競技は出場選手三十名を年齢別に三組に分けてリーグ戦を行つた結果、A組では池田一郎、B組宮下武、C組日渡小三郎氏がそれぞれ優勝した

【本日】朝の内北寄りの風、日中は南東の風となり初めは曇勝ち小雨の降る所もありましたが日中は晴間が多くなりました

【海上】本日、明日共に中は多少波立ちます、体は穏やかな方です

六四年に初めて龍吐氷という消防ポンプが一般民家を守る消防のためにおかれたのが我が國放水の最初である、丁度その頃英國から蒸氣ポンプが輸入されたが当時我が國の道路狭路のため管用には使用されずこれが動機となつて種々な消防機が輸入されたり日本で作られたりして次第に機械器具の設備が整い我が國消防は益々ましき發達をとげた

常磐線湯本町 湯本温泉 電話(湯本)13番

離れ座敷増築 湯本隨一 (各室電話の設備あり)

近日開店 新扇屋 平市大町(常磐交通第二車庫前)

新葉特許 アイス(チョコ)ロール 本品は夏季趣好品として絶対口あたり良く

祝 小名濱白百合幼稚園落成 8月24日

皆様の絶大なる御支援のもとに小名濱町小名長枕の地に建築中の小名濱白百合幼稚園舎も工事全くと成り本二十四日落成式を挙行する運びとなりました事から感謝致して居ります



電機工事施行者 電灯、動力、船舶工事請負 ラジオ、モーター販賣並修理 長山電機商会 小名濱町本町 電話165番

建築工事施行者 福島縣知事登録(口)第20号 常磐土建株式会社 社長 草野道一 建築主任 山田甲一

硝子工事施行者 一般建具、自動車用 嵌込出張施行 大橋ガラス店 小名濱町清瀬 電話(呼)219番

左官工事施行者 一般建築左官請負 大平辰藏 小名濱町諏訪町42 塗裝工事施行者 一般建築塗裝請負 鳥居塗裝店 小名濱町横町44

